

第4回福岡県青少年問題協議会専門委員会議(平成29年7月26日)での主な意見

項目	番号	意見・質疑	反映箇所
現状と課題	①	・睡眠時間の減少についてもっと言及した方が良い。	P8,P28
	②	・外遊びが減っているという現状について、インターネットの利用が増えていることだけが理由ではなく、遊べる場所が少なくなっていることが影響していることについて説明すべき。	P9
	③	・地域とのつながりの中で、「悪いことをしたら叱られるか」のグラフが削除されているが、削除する必要はないのではないか。	P18
	④	・3年以内の離職率が全国平均より高いことについて、経年変化が分かるようにグラフを作成してほしい。	P19
	⑤	・コミュニティサイトについて、注釈を入れたほうがよい。	P21
	⑥	・情報化社会の進展の中で、インターネット利用内容について記載されているが、SNSの利用について、ぜひ言及してほしい。	P24
施策の方向	⑦	・「性的指向、性自認」については、注釈を入れた方がよい。	P30
	⑧	・ボランティアなどの社会参画の推進がキャリア教育に位置づけられていることに違和感を感じる。 ・キャリア教育を幅広い意味でとらえているのであれば、それが分かるように記載すべき。	P42
	⑨	・ドロップアウトした子を対象とした、学力の向上、語学や、郷土を知るための機会を作ることを考えてほしい。	一部 P44、49
	⑩	・いくつかの項目に関連するもの(遊び、ボランティアなどの社会参画)の取り扱いはどうするのか。	関連項目 に再掲する
県民に対するメッセージ	⑪	・親が子どもの話を聞けていない。しっかりと受け止め、話を聞くべきである。	P61
プランの推進	⑫	・現行プランの数値目標の進捗状況については、概要だけではなく、データ(数値一覧)を次期プランに記載すべきだと考える。 ・現行プランで立てた目標について、取り組んだ結果を具体的に示し、その上で新たな目標を立てるべきではないか。また、目標を達成するための手法についても、その手法でよかったのかどうなのかを検討し、次のプランにつなげるべきではないか。	プランの 資料として 掲載